

○デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の進捗及び重要業績評価指標(KPI)の達成度の状況について

資料4

- 単市で実施事業
- ① データ連携(都市OS)を活用したスマイルエイジングの推進(令和5年度～令和7年度)

山陽小野田市では、スマイル(笑顔)の源となる心身の健康を保ちつつ、誰もが笑顔で年を重ねていくことができるよう、健康寿命の延伸を目指して「スマイルエイジング」に取り組んでいる。健康寿命の延伸には市民の生活習慣の改善が欠かせない。デジタル機器から収集する健康データを活用する中で、個に応じた健康づくりに取り組む。また、薬学部や工学部数理情報科学科を擁する山口東京理科大学とデータ連携・分析する体制を構築し、分析したデータを市の施策に活かすことで、効果的な行政サービスの提供、市民生活の質向上を図る。

事業概要		重要業績評価指標(KPI)							
		アクティブトラッカー等のデジタル機器を活用する中で、健康状態が改善した人数		当事業の健康指導の拠点の数(「スマイルエイジング薬局」・事業所等)		山口東京理科大学でのデータ分析件数		週1回以上運動する市民の割合	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
初年度	・アクティブトラッカー等を活用した健康データの取得 ・分析結果に基づく生活習慣の改善に向けた健康指導の実証 ・関係団体、市民等からなる、データ連携・分析を行うための体制構築 ・データを蓄積、活用するためのデータ連携基盤の構築	24人	19人	-	-	-	-	-	-
2年目	・アクティブトラッカー等を活用した健康データの取得 ・分析結果に基づく生活習慣の改善に向けた健康指導 ・健康指導を実施可能な拠点の拡充に向けた実証 ・データ連携・分析を行う内容、手法等を協議 ・データ連携基盤に、健康データを取り込むことができるよう、また、個に応じた適切な保健指導がより効果的にできるよう、データ連携基盤の機能強化	56人		2箇所		-		-	
3年目	・アクティブトラッカー等を活用した健康データの取得 ・分析結果に基づく生活習慣の改善に向けた健康指導 ・「スマイルエイジング薬局」等において、健康指導を実施 ・市のデータを活用した山口東京理科大学でのデータ分析 ・データ連携基盤に、レセプトデータ・健診データ等の医療・健康データを取り込むことができるように機能強化 ・分析結果を確認できるような市民向けアプリを開発	40人		3箇所		1件		70%	

- 広域で実施事業
- ② デジタルの活用によりやまぐちの魅力あるしごとに繋ぐ産業人材定着・還流推進事業(令和3年度～令和7年度)
- ③ 「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト(令和4年度～令和8年度)

若者や学生等に対して県内への定着・還流を実現するため、県内就職・進学への促進に向けた取組を実施する。具体的には、就職に至るまでの各段階に対応した情報発信や企業との出会い・交流機会の設定、インターンシップや企業説明会への参加支援を、デジタルも活用しながら一連の流れとして体系的に展開していく。

コロナ禍を通じて人々の意識の変化やデジタル化の進展などの社会の変化、新しい旅のスタイルにも対応しながら、既存の観光誘客に加え、新たなビジネス誘客を通じて、観光関連産業の成長促進を図り、雇用の創出につながる取組を展開し、交流人口の拡大を図り移住・定住へつなげていく。

事業概要	
初年度	・若者等向け地元企業合同就職フェアや合同就職面接会の開催
2年目	・若者等向け地元企業合同就職フェアや合同就職面接会の開催
3年目	・若者等向け地元企業合同就職フェアや合同就職面接会の開催
4年目	・若者等向け地元企業合同就職フェアや合同就職面接会の開催
5年目	・若者等向け地元企業合同就職フェアや合同就職面接会の開催

事業概要	
初年度	・スマイルゆめ散歩 ・観光プロモーション(Instagramハッシュタグキャンペーン) ・キッズサマーパス
2年目	・スマイルゆめ散歩 ・観光プロモーション(Instagramハッシュタグキャンペーン) ・キッズサマーパス
3年目	・スマイルゆめ散歩 ・観光プロモーション(Instagramハッシュタグキャンペーン) ・キッズサマーパス
4年目	・スマイルゆめ散歩 ・観光プロモーション(Instagramハッシュタグキャンペーン) ・キッズサマーパス
5年目	・スマイルゆめ散歩 ・観光プロモーション(Instagramハッシュタグキャンペーン) ・キッズサマーパス